

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2016年3月8日（火）18：33～20：13

場 所：虎ノ門 第一オカモトヤビル4階会議室

出席者：理 事：大谷、小川、尾山、北村、黒岩、児玉、庄野、新通、関根、外山、丹羽、
平松、星野、三輪

監 事：今北、藤田

欠席者：理 事：飯島、伊藤、才藤、羽柴（以上、アイウエオ順）

尾山会長が議長となり、議事録作成人に庄野理事、同署名人に三輪理事を指名して、下記議案につき審議した。

1. 全国代表者会議並びに外洋団体長会議の件

議長より1月23～24日に開催された全国代表者会議並びに外洋団体長会議につき、既に報告書は提出済みであるが、外洋団体長会議の場に於いて改選を迎える JSAF 理事選挙にて現体制維持の方針が確認された旨が報告された。また JSAF 評議員も改選となり、現在当クラブからは庄野理事が就任しているが、次期もお願いしたいと考える旨が諮られ、承認された。

2. 外洋合同委員会会議の件

議長より2月6～7日の日程で大阪に於いて外洋合同委員会会議が開催され、才藤副会長（レース委員会）・伊藤計測委員長、黒岩安全委員長・三輪ルール委員長の4名が参加した旨が報告され、三輪理事より報告書は既に提出済みであるが、ルールについては外洋系だけについて抜き出した良い資料があるので、近く配布予定である旨が補足された。黒岩理事より安全委員会については資料を配付済みであるが、主な所では ISAF から World Sailing への名称変更、外洋特別規定につき年月の起算の変更、ゴミの保管方法、MOB 練習の義務化と可視化の実施、安全クリニックを江ノ島にて開催予定、来年は名古屋で開催予定であることが報告された。これを受け、議長より各委員会において次年度の同会議への参加につき予算化を図るよう指示がされた。

3. 委員会事業報告並びに事業計画の件

関根事務局長より各委員会の事業報告並びに計画をまとめたものが配布され、一般会計予算案は同報告と計画に基づき作成された旨が報告され、三輪理事よりルール委員会を2回開催した旨が訂正された。

4. 平成27年度決算状況並びに28年度予算案の件

関根事務局長より3月5日時点での一般会計並びに貸借対照表が披露され、ほぼ予算通りに執行されており、事務局費用のうち事務費等で予算5万円に対して実績14万円超になっている理由は会員カードの発注によるもので、予算案にて前年度との大きな相違は会費を自動振替ではなく銀行振込にて支払う会員から徴求する3千円によるものであることが報告された。また JSAF 会費の納入について当クラブ会員は、JSAF 新システム経由では支払ができない仕組みになっており、4月からの2016年度更新では JSAF 会員

証を例年通り発行することになり、JSAF 新システム上から PDF 出力も可能であり、メールアドレスの登録数は現在 30 件前後である旨が補足された。議長より事務局経費の内訳も開示されており、内容も充実してきていることと、監査を 4 月 5 日 15 時より開催することが提案され、了承された。

5. 捜索救助に保険を活用するワーキンググループ経過報告の件

庄野理事より昨年の定時総会で提案のあった捜索救助に保険を活用するワーキンググループの途中経過として、メールにて回覧された答申案を準備中であり、ポイントとして①捜索救助費用を保障する保険を引き受ける損害保険会社は皆無であったこと、②リスクを外部保険に転嫁できないことから、現行の基金制度を維持・継続することが極めて重要であること、③当クラブが主催する外洋レースに絞り、1 日あたり航空機 1 機・船舶 3 艇での捜索態勢を取ると、1 日あたり約 180 万円の見積となり、現在の当クラブ基金残高では約 5 日間の捜索活動が可能であること、④万一の事態の際には、VHF 無線機の DSC ボタンや EPIRB を躊躇なく発信することが重要であること、などが報告された。

6. 関東四団体会議報告の件

議長より関東四団体の会長が集まり、①KTS 成績算出方法を低得点方式へ変更し、1 レース増やすこと、②みさきヨット無線局の会計結果を開示して、外洋湘南・外洋三崎・当クラブの三団体にて費用を按分して負担していくこととし、事務局を設置して更新・維持していくことに決したこと、③レース申込書の書式の統一化を目指すこと、④2017 年ジャパンカップ開催を三団体にて検討すること、⑤外洋三崎主催にて 2017 年小笠原レースを開催予定であること、⑥外洋特別規定クリニックを 4 月 23 日江ノ島にて開催すること、などが協議・決定された旨が報告された。

7. みさきヨット無線局状況報告の件

議長より三団体の会長によるみさきヨット無線局の費用負担についての合意に基づき、「みさきヨット費用負担に関する基本覚書」「業務委託契約書」「みさきヨット業務委託覚書」案を作成し、弁護士によるレビューも経て、外洋湘南・外洋三崎へ送付済みであり、異存ないようであることが報告され、当クラブの事務局業務委託先である（有）フリーチケットと契約したい旨が諮られ、全会一致で承認された。尚、みさきヨット無線局の会計は、当クラブとは別会計である旨が補足された。

8. レース関連報告の件

①フリート対抗レース

平松理事よりフリート対抗レースにつき尾山氏・飯島氏・関根氏・才藤氏・平松氏にて打合せを行い、近日中に公示を公開予定であり、4 月 10 日湘南レース（ソーセージ 2 レース）と同月 17 日の小網代フリートレース（南西ブイ）の 3 レースにて行い、小網代フリートからの参加艇数に合わせて合計ポイントで競うこととし、プロテスト委員会は当クラブのプロテスト委員会とする旨が報告された。

②ミドルボート選手権

関根事務局長よりミドルボート選手権の共同主催依頼書が本日届いたが、所定の書式を用いていないことと、本来依頼書はレース委員会で検討した上で理事会へ諮られる

ものだが間に合わなかった為、メールにて回覧することとし、レース委員長の承認を得ることを条件として承認された。

9. KFR 落水事故報告の件

議長より KFR での落水事故報告書が既に当クラブホームページに掲載されている旨が報告され、児玉理事より公表については落水者の精神的ダメージが大きいことから慎重に検討した旨が補足され、JSAF 安全委員会に対して当クラブのホームページへのリンクを伝えることとした。

10. その他

議長より本日の会計中間報告にあるように、他団体の記念行事に対して予算計上をしておくべきではないかとの意見があることから、当該支出を目的とした予備費を計上したい旨が報告された。

新通理事より昨年からの開催の若大将カップにつき今年は 10 月 9 日開催予定として、2020 年オリンピックのセーリング競技江ノ島開催もあることから、神奈川県ヨット振興事業として行う「エンジョイ・海・神奈川」として近隣マリーナにも協力を仰ぎ、体験乗船などのイベントのプロデュースを加山雄三氏が担当することになり、ディンギー部門も設ける予定である旨が報告された。

議長より JSAF 水域理事についての案内書を受領したが、当クラブからの立候補はなく、外洋湘南の平井氏が立候補予定である旨が報告された。

次回理事会は 4 月 12 日、会場は第二オカモトヤビルになる旨が確認された。

以上で本日の議事を全て終了し、20 時 13 分閉会した。

以 上

2016年3月 日

議事録署名人